

📅 8月1日 市町村自治会館別館

### 国保総合システム初任者向け操作説明会

## 国保総合システムの基本的な操作方を説明

熊本県内保険者の国保事務担当初任者を対象に毎年開催しているもので、計 26 保険者から 38 人が参加した。

開会に当たり、情報システム課長が平成 30 年 1 月稼働予定の次期国保総合システムや同年 4 月稼働予定の国保保険者標準事務処理システムについて説明し、両システムの稼働と法改正に向けて引き続き保険者の協力をお願いした。

説明会は、被保険者異動情報に係る処理、資格確認・給付点検、療養費、高額療養費、高額介護合算療養費等の各共同電算業務について、これまで問い合わせの多かった内容等を踏まえながら説明し、実際に表示される画面を表した資料を用いて、手順に沿って基本的な入力方法を確認した。

また、事業月報等の報告に係る資料や、保険者間調整の概要、国保中央会開発のジェネリック差額通知効果測定支援システムについて説明した。



📅 8月1日 火の国ハイツ

### 市町村保健事業担当者研修会

## 平成30年度からの国保制度改革に向けて 県や市町村の役割などを確認

市町村の国保及び保健主管課と熊本県の関係職員 130 人が参加した。

まず、熊本県国保・高齢者医療課国保財政運営班の田中真一郎主幹が「国保の財政運営責任等の都道府県移行について～国保運営方針と保険者努力支援制度～」と題して、「国保制度の経緯と概要」「国保運営方針について」「保険者努力支援制度とその前倒し実施」の 3 点に分けて説明した。特に、「保険者努力支援制度の前倒し実施」では国保特有のインセンティブ手法の説明があり、参加者は熱心に聞き入っていた。

次に、本会保健事業支援課担当者が「データから見る市町村の現状」と題して、保険者努力支援制度の評価指標に関する資料や、市町村に実施した保健事業実施状況アンケートの結果などを示して説明した。これらのデータから、保健指導実施率の高い保険者では血圧や HbA1c の経年変化で平均値などが下がり効果が見られることや、それぞれの保険者の現状などを確認でき、その後の意見交換も活発に行われていた。また、本会で実施している「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業」関連の研修会、CKD に関する地区別学習会、保健事業支援・評価委員会による保険者への支援などについても説明した。

続いて、現在開発中の「保険者データヘルス支援システム（仮称）」について、開発の経緯や出力画面・帳票類のイメージ、今後のスケジュールなどを説明した。このシステムは、保険者努力支援制度の評価指標に即したデータの分析や抽出ができ保険者のデータヘルス推進にも活用できることを目的とし、平成 29 年度から稼働予定である。

最後に、グループごとに意見・情報交換した。

終了後の参加者アンケートでは「国や県の最新の動向が分かった。今後、どの保健事業に力を入れたらいいか、具体的に内容を絞って取り組んでいきたい」「保険者努力支援制度について詳しく聞けてよかった。少しずつ評価項目をクリアできるように考えていきたい」などの感想が寄せられていた。



📅 8月30日 市町村自治会館

障害者総合支援給付支払等保険者説明会

## 障害者総合支援給付支払等システムによる処理などを説明

障害者総合支援と障害児給付費の支払い事務についての説明会を開催。市町村から 40 人が参加した。

支払い事務における基本的な事項のほか、市町村での審査を支援するために本会で行っている障害者総合支援給付支払等システムを使った事務点検処理の流れや受給者台帳の作成、点検により発生するエラーについての対処方法等を説明した。

最後に、制度上、1 カ月単位という短い期間での事務点検処理になることについて、理解と協力をお願いした。

